

要 望 書

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
令和2年10月6日

要 望 書

本協議会の活動につきましては、平素から格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

成田線沿線地域は、首都東京から至近な距離にあることから、東京への通勤・通学圏として発展してきた地域であり、成田線の輸送力強化及び利便性向上が沿線自治体のまちづくりの最重要課題となっています。

こうしたことから、成田市、柏市、我孫子市、印西市、栄町、利根町、河内町を構成員とする本協議会では、成田線の輸送力強化と利便性向上を促進するとともに、沿線内外の利用促進を図り、成田線の活性化を推進することを目的として活動しています。

2021年4月1日には成田線（我孫子～成田間）開業120周年の節目となります。当協議会はこの機会に、成田線沿線の魅力を発信し、一人でも多くの方が成田線を利用していただけるよう記念事業を検討しています。

このような中で、昨年3月のダイヤ改正においては、夜間の下り列車2本の我孫子駅での停車時間が短縮され、常磐線から成田線への接続改善をしていただきました。また、本年3月のダイヤ改正において、成田線における夕方から夜間の品川発、上野東京ライン経由の成田行きを6本から7本に、成田発、上野東京ライン経由の品川行きを2本から3本に拡大していただきました。

成田線の利便性向上に特段のご配慮をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

しかしながら、朝の通勤・通学時間帯では、常磐線の上野東京ライン乗り入れ列車の本数が増便したものの、成田線の増発はありません。

今後、成田線のさらなる利便性の向上が次期ダイヤ改正において期待されているところです。この機会に、次の項目については是非とも実現いただくよう要望いたします。

1. 成田線の増発について

本年3月のダイヤ改正において、成田線における夕方から夜間の品川発、上野東京ライン経由の成田行きを6本から7本に、成田発、上野東京ライン経由の品川行きを2本から3本に拡大していただきましたが、成田線の増便とはなりませんでした。成田線から常磐線に乗り換えて東京・品川方面へ通勤・通学する方にとっては朝の通勤・通学時間帯に成田線の本数が増えれば、上野東京ライン乗り入れ列車を利用する機会が増え、大幅に利便性が向上します。また、これにより、成田線各駅の乗客人員がさらに増加することが期待できます。

このことから特に通勤・通学時間帯での我孫子駅～成田駅間を走る列車の増発について、次期ダイヤ改正での実現を要望いたします。

2. 常磐線「特別快速」の我孫子駅停車について

平成17年7月常磐線のダイヤ改正により新設された「特別快速」は、残念ながらJR成田線の乗換駅である我孫子駅への停車は実現していません。平成27年3月のダイヤ改正では、北千住駅が停車駅に加えられ、通過駅は三河島・南千住・我孫子・天王台の4駅のみとなっています。

JR東日本発表の各駅の乗車人員によりますと、令和元年の我孫子駅の乗客数は1日平均約3万1千人で、取手から土浦間の各駅と比較しても乗客数が多い状況となっております。さらにJR成田線の利用者を含めると1日平均約4万9千人が利用しておりますが、これらの利用者は特別快速に乗車する機会がありません。

仮に特別快速が我孫子駅に停車しても所要時間は1分30秒程度で、速達性は変わらず、利用者に大きな影響はないと考えられます。一方で、成田線利用者を含む我孫子駅利用者にとっては、我孫子駅に特別快速が停車しないことで待ち時間が長くなっています。このため、特別快速の我孫子駅停車の実現を要望いたします。

なお、我孫子駅への停車が困難な場合には、平成18年3月及び、令和2年3月のダイヤ改正により減便された快速の本数復元を検討いただくよう要望いたします。

3. 東海道線との相互乗入れの早期実現と臨時特急「踊り子号」の継続運行

上野東京ラインの開通により、常磐線・成田線から品川駅までの直通運転が実現しましたが、さらなる利便性向上のため、品川駅以南の東海道線から常磐線取手駅までの相互直通運転を要望いたします。

また、平成27年3月に始まった臨時特急「踊り子号」は、運行から5年を経て、沿線住民からの乗車を希望する問い合わせも続いていることから、今後も運行の継続を要望いたします。

4. 成田空港への快速列車の運行について

成田空港では、発着容量30万回化の合意以降、LCCを含めた国際線・国内線の新規就航や増便をはじめ、LCC専用ターミナルビルが整備されるなど新たな動きが活発化しています。また、訪日外国人旅行者は年間3,188万人を超え、今後、さらに増加が見込まれています。

こうした中、成田空港へのアクセスについては、成田エクスプレスや成田スカイアクセス線などの整備により東京方面からの利便性は飛躍的に向上しているものの、人口集積地域である松戸市、柏市、我孫子市が位置する千葉県北西部をはじめ、茨城県、埼玉県など北関東地域からのアクセスは一向に改善されていません。

つきましては、北関東地域からの空港アクセスとして、武蔵野線や常磐線から成田線を経由して成田空港に向かう快速直通列車の運行を要望いたします。また、成田線の列車についても、成田空港への直通運行ができるよう要望いたします。

5. 千葉方面へのアクセス向上について

成田線の各駅から成田駅経由で千葉方面へ通勤・通学する方の利便性向上のため、千葉方面への直通運行を要望いたします。

6. 地震や大雪等の自然災害発生時における情報提供の円滑化について

地震や大雪、集中豪雨、台風等による災害発生時においては、鉄道の運行に係る情報を確実に伝達できる広報・情報提供の体制を整備していただくとともに、迅速かつ正確な、運転取りやめ、運転再開の見込み等の情報提供を要望します。

また、復旧の見通しの状況等に応じて、被害状況や復旧作業の状況、代替交通手段の運行等に係る分かりやすい情報提供の実施をお願いします。

その際は障害者等にも配慮した形での情報伝達を要望します。

7. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症は、収束までに相当の期間を要することが想定されることから、感染拡大防止に向けた持続的な対策が求められます。

つきましては、利用者の健康と安全を守るため、令和2年5月に国や鉄道連絡会から示された新型コロナウイルス感染症対策における鉄道の運行の考え方やガイドラインを踏まえて、引き続き、マスクの着用、うがい・手洗い、消毒、換気及び検温の励行、防護措置など対策の徹底を要望します。

令和2年10月6日

東日本旅客鉄道株式会社
常務執行役員
東京支社長 白石敏男様

成田線（我孫子～成田間）活性化推進協議会
会長 我孫子市長 星野順一郎

成田線(我孫子～成田間)活性化推進協議会名簿

| | | |
|-----|----------|---------|
| 会 長 | 我孫子市長 | 星 野 順一郎 |
| 副会長 | 印西市長 | 板 倉 正 直 |
| 〃 | 栄町長 | 岡 田 正 市 |
| 監 事 | 成田市長 | 小 泉 一 成 |
| 〃 | 利根町長 | 佐々木 喜 章 |
| 委 員 | 成田市議会議長 | 秋 山 忍 |
| 〃 | 柏市長 | 秋 山 浩 保 |
| 〃 | 柏市議会議長 | 助 川 忠 弘 |
| 〃 | 我孫子市議会議長 | 西 垣 一 郎 |
| 〃 | 印西市議会議長 | 板 橋 睦 |
| 〃 | 栄町議会議長 | 橋 本 浩 |
| 〃 | 利根町議会議長 | 船 川 京 子 |
| 〃 | 河内町長 | 雜 賀 正 光 |
| 〃 | 河内町議会議長 | 服 部 隆 |